

新ごみつうしん 南魚沼 No.1

【問合せ】 新ごみ処理施設整備室 ☎782-0263

ごみ行政の現状や課題について、市民のみなさんから一層の理解と関心を深めていただくため、本年度の「市長と市民の車座会議 ざっくばらん（市政懇談会）」で、現在のごみ処理の状況や新ごみ処理施設の建設をテーマに市民のみなさんと意見交換をしたいと考えていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、市政懇談会を中止したため、代わりに市報でごみ行政に関する特集を4回にわたって掲載し、ごみ処理や新ごみ処理施設について市民のみなさんと共に考えていきたいと思えます。

南魚沼市長 林 茂男

ごみ処理施設の今

現在、南魚沼市のごみは、環境衛生センター〔可燃ごみ処理施設：島新田、不燃ごみ処理施設：上十日町〕と魚沼市のエコプラント魚沼〔魚沼市中島〕で処理しています。環境衛生センターでは六日町・塩沢地域と湯沢町のごみを処理し、大和地域のごみはエコプラント魚沼で処理しています。

環境衛生センター

・可燃ごみ処理施設

ごみを高温で溶かしスラグ(*)化できる溶融炉を採用しており、スラグの一部は埋め戻し材やコンクリート骨材としてリサイクルし、活用しています。また、ごみの焼却熱を利用して、施設内の電力を発電しているほか、可燃ごみ処理施設に付帯する温泉施設「金城の里」の温泉を温める熱源として使用しています。

・不燃ごみ処理施設

ビン、カン、金属類などの有効資源を分別や破碎により回収するとともに、ペットボトルや容器包装ごみなどのリサイクルを行っています。

エコプラント魚沼

可燃ごみ焼却施設は、砂を高温に熱してごみをむらなく素早く燃焼させる流動床炉を採用しています。また、施設内には焼却施設とともに、不燃ごみ・大型ごみ処理施設を併設しています。

エコプラント魚沼では、平成20年から3か年をかけて大規模修繕工事を行い、施設の延命を図りました。

ごみ処理施設は、高温の燃焼炉と大小さまざまな機械の集合体であり、適切なメンテナンスにより日々の運転を行っています。

しかし、どちらの施設も建設から一定の年数が経過して老朽化が進んでいます。

(※)スラグとは、ごみを高温で溶かし、冷やすことで生成させるガラス状の物質

南魚沼市環境衛生センター
可燃ごみ処理施設



不燃ごみ処理施設



魚沼市エコプラント魚沼



地域によって利用するごみ処理施設が分かれているんじゃない。両方の施設を安全に維持していくことは大変なんじゃ。今回は施設の状況などを見ていただこうかの。

